

造材や羽柄材の標準化と金物工法により、プレカット加工や現場の効率化、施工の省略化を図っている。

また、木造合理化システム認定規定による長期性能タイプの基準を満たしており、完成

3、省エネルギー性能(地域区分Ⅳ)は等級4となっている。

HES長期優良性能住宅は「近畿・良い住まいを創る会」の金物工法活用工務店(合理化システム活用)とナカザワ建販の相互信頼

していく。標準とする引渡し後の点検(無償点検)は、3カ月後に顧客より要望聴取と全般に目視点検を行い、1年後と2年後については、構造全体に目視点検、内外装仕上げ状態の目

の仕方は細部の部品にまで及ぶ。数年前から北山杉の新需要創出にかけ乾燥させ、さら

取り組み、設計者ならでの提案を行い、実践している。

大阪木材仲燃エンウツ 大阪木材

大阪木材仲買協同組合(大阪市、雪本政通

部での大型木造建築物が可能であることを証明する建築物であり、木材需要喚起の一助になると期待が寄せられている。

同建物の延べ床面積は1093立方尺、地上3階建てで、このうち2・3階部分が木造。1階は、玄関と駐車場、展示スペース、2階が事務所や理事長室、応接室などの執務室、3階は中・大会議

として木材のPRをしていく。4月8日の竣工記念式典には、雪本理事長が完成に至るまでの経緯などを話した後、「地域のランドマークとして、また、木材の殿堂として、木材をP

艶のある木肌が現れる。この丸太を時間をかけて乾燥させ、さらに木肌を磨いたものが北山丸太で、数寄屋造りなどに用いられる。

木製家具では、北山杉産地勢に加え、コクヨファニチャー、デザイナリーの小泉誠氏、京都の二葉家具、学生など多様な人々が集い、北山丸太の意匠性を生かす方向で商品開発に取り組んできた。

木製仮設は、北山杉小径木を単管足場用鋼管とドリフトピンで自由ジョイントするもので、京大小松研で実際に建築した。内装では北山磨丸太を列柱や階段部の壁面意匠に使うことを提案しており、少しずつ浸透している。このほど亀岡で竣工した研修施設は、

変わりはないが、現代的な洋風建築でも活用するためには、まず用途開発が重要で、私たち設計者の役割も重要と感じている。

里子 学び 代 金次 何



地域産木材の活用

力を入れている1級建築士事務所「里仁舎」(京都市、南宗和社長)は、このほど竣工した京都大学大学院総合生存学館(思修館)の合宿型研修施設木造3階建て共同住宅設計

国産材利用拡大は用途開発から

北山杉の新需要創出に取り組む

南宗和氏(里仁舎社長)

でも、国産材を構造、内・外装、建具、家具などあらゆる部位に採用した。南社長の設計手法は構造、意匠を徹底的に検討し、国産材の最適な使い方を追求していくもので、検討

ただ、数寄屋住宅の減少や和室の減少など伝統的な需要が撤退し、新たな用途開発が必要になっており、北山杉産地の若手と用途開発に関する検討を

北山杉の新たな利用方法として家具、内装、外構材、仮設資材などを提案している。

ただ、数寄屋住宅の減少や和室の減少など伝統的な需要が撤退し、新たな用途開発が必要になっており、北山杉産地の若手と用途開発に関する検討を

木製家具では、北山杉産地勢に加え、コクヨファニチャー、デザイナリーの小泉誠氏、京都の二葉家具、学生など多様な人々が集い、北山丸太の意匠性を生かす方向で商品開発に取り組んできた。

木製仮設は、北山杉小径木を単管足場用鋼管とドリフトピンで自由ジョイントするもので、京大小松研で実際に建築した。内装では北山磨丸太を列柱や階段部の壁面意匠に使うことを提案しており、

変わりはないが、現代的な洋風建築でも活用するためには、まず用途開発が重要で、私たち設計者の役割も重要と感じている。

里子 学び 代 金次 何



南社長

でも、国産材を構造、内・外装、建具、家具などあらゆる部位に採用した。南社長の設計手法は構造、意匠を徹底的に検討し、国産材の最適な使い方を追求していくもので、検討

ただ、数寄屋住宅の減少や和室の減少など伝統的な需要が撤退し、新たな用途開発が必要になっており、北山杉産地の若手と用途開発に関する検討を

木製家具では、北山杉産地勢に加え、コクヨファニチャー、デザイナリーの小泉誠氏、京都の二葉家具、学生など多様な人々が集い、北山丸太の意匠性を生かす方向で商品開発に取り組んできた。

木製仮設は、北山杉小径木を単管足場用鋼管とドリフトピンで自由ジョイントするもので、京大小松研で実際に建築した。内装では北山磨丸太を列柱や階段部の壁面意匠に使うことを提案しており、

変わりはないが、現代的な洋風建築でも活用するためには、まず用途開発が重要で、私たち設計者の役割も重要と感じている。

里子 学び 代 金次 何

里子 学び 代 金次 何

木材の少量